

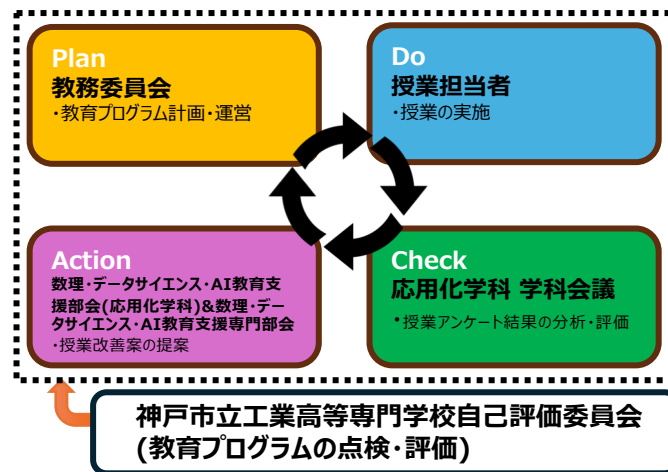


神戸市立工業高等専門学校

数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)【応用化学科】実施体制

▶ プログラムを改善・進化させるための実施体制の役割と実施部署一覧, および, PDCAサイクル

役割	実施部署(委員会など)
運営責任者	校長
Plan : 教育プログラムの計画・運営	教務委員会
Do : 授業の実施	授業担当者
Check : 授業アンケート結果の分析・評価	応用化学科 学科会議
Action : 授業改善案の提案	・数理・データサイエンス・AI教育支援部会(応用化学科) ・数理・データサイエンス・AI教育支援専門部会
教育プログラムの点検・評価	神戸市立工業高等専門学校自己評価委員会



▶ PDCAサイクルの流れ

(P)神戸市立工業高等専門学校の本科の正課教育の運営を円滑にするために, 教務委員会を置く。教務委員会は本教育プログラムを含むカリキュラムや単位, 成績の認定など学科の教務に関する事項を掌握しており, 教務委員会で本教育プログラムの質・履修者数の向上に関する事項を取り扱う。

(D)学科における情報教育の充実を支援するために専門科目においては, 応用化学科が設置する数理・データサイエンス・AI教育支援部会と神戸市立工業高等専門学校総合情報センターが設置する数理・データサイエンス・AI教育支援専門部会により具体的な本教育プログラムの授業を支援し, 授業担当者と連携しながら, 質の高い授業を実施する。

(C&A)応用化学科 学科会議で, 本校で実施している学生アンケートから, 本教育プログラム対象科目の授業内容や学生の理解度を分析し, 数理・データサイエンス・AI教育支援部会と数理・データサイエンス・AI教育支援専門部会とで情報を共有する。また, 得られた授業改善案を教務委員会へ提案する。これらの情報は, 教務委員会を通じて授業担当者にも共有され, 本教育プログラムの改善を継続的に推進(PDCAサイクル)するものである。なお, 本校では教員間の授業公開も実施しており, 教員間の授業レベルが偏らないようにする試みも行なっている。

また, 上記体制が適切に運用されているのかについては, 神戸市立工業高等専門学校自己評価委員会が学習・教育目標の達成度や教育等の状況について点検および評価する。